

平成27年度スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール研究実施報告（第1年次）（概要）

1 研究開発課題	Think Glocally, Act Glocally. ～世界ハ我市場ナリ～ 職業バカロレアとアクティブラーニングによる 世界を視野に地域で貢献し、ビジネスを創造・構築できる人材の育成		
2 研究の概要	<p>世界を視野に、地域で貢献し、ビジネスを創造・構築できる人材を育成するため、以下の研究を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 フランスの職業バカロレアの出題形式を取り入れた学習指導の研究・実践を通して、専門性を定着させ、分析力・思考力・判断力・表現力を育成する。 2 専門性を活かしたアクティブラーニングを実施することにより、応用力・活用力を養うとともに、他専門領域にも関心を持ち、生涯にわたって学び続けるプロフェッショナルな人材を育成する。 3 企業等での長期間にわたる勤労実習（ジョブチャレンジ）により、確かな勤労観・職業観と専門性を活かした職業に対する意欲を持ち、実践力のある人材を育成する。 4 商品の輸出入、外国での販売実習・インターンシップ、外国人向けの観光に関する実践活動等により、異文化を理解し、日本や名古屋の文化・伝統を理解するグローバルなビジネスを積極的に取り組む姿勢を持つ人材を育成する。 5 地域の資源・伝統産業をベースにした商品開発、イベントの企画・運営等の学習により、地域の活性化を図るビジネスを創造し、地域に貢献できる人材を育成する。 		
3 平成27年度実施規模	1年1学級、2年全学科、3年商業科選択科目「商品開発」履修者及び3年情報処理科・国際経済科を対象として実施した。		
4 研究内容	<p>○研究計画（指定期間満了まで。5年指定校は5年次まで記載。）</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="159 1433 319 2072">第1年次</td> <td data-bbox="319 1433 1436 2072"> <p>【職業バカロレアの試験・評価法を活用した学習指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年「簿記」、2年「財務会計Ⅰ」における職業バカロレアの試験手法を用いた学習指導の予備的な研究 ・2年「プログラミング」における職業バカロレアの試験手法を用いた学習指導と評価法・評価規準の研究 <p>【商品開発に関するアクティブラーニング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業との連携による和菓子・紙布の商品開発の学習内容、指導法及び外部機関との連携の在り方の研究 <p>【地域への貢献に関するアクティブラーニング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化のためのイベントの企画・運営の学習内容、指導法、外部機関との連携の在り方の研究 <p>【国際交流に関するアクティブラーニング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「国際テレビ会議システムを活用した交流授業」、「英語によるプレゼンテーション大会参加」及び「外国人留学生との交流」の学習内容・指導法の研究 <p>【グローバルビジネスに関するアクティブラーニング】</p> </td> </tr> </table>	第1年次	<p>【職業バカロレアの試験・評価法を活用した学習指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年「簿記」、2年「財務会計Ⅰ」における職業バカロレアの試験手法を用いた学習指導の予備的な研究 ・2年「プログラミング」における職業バカロレアの試験手法を用いた学習指導と評価法・評価規準の研究 <p>【商品開発に関するアクティブラーニング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業との連携による和菓子・紙布の商品開発の学習内容、指導法及び外部機関との連携の在り方の研究 <p>【地域への貢献に関するアクティブラーニング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化のためのイベントの企画・運営の学習内容、指導法、外部機関との連携の在り方の研究 <p>【国際交流に関するアクティブラーニング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「国際テレビ会議システムを活用した交流授業」、「英語によるプレゼンテーション大会参加」及び「外国人留学生との交流」の学習内容・指導法の研究 <p>【グローバルビジネスに関するアクティブラーニング】</p>
第1年次	<p>【職業バカロレアの試験・評価法を活用した学習指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年「簿記」、2年「財務会計Ⅰ」における職業バカロレアの試験手法を用いた学習指導の予備的な研究 ・2年「プログラミング」における職業バカロレアの試験手法を用いた学習指導と評価法・評価規準の研究 <p>【商品開発に関するアクティブラーニング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業との連携による和菓子・紙布の商品開発の学習内容、指導法及び外部機関との連携の在り方の研究 <p>【地域への貢献に関するアクティブラーニング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化のためのイベントの企画・運営の学習内容、指導法、外部機関との連携の在り方の研究 <p>【国際交流に関するアクティブラーニング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「国際テレビ会議システムを活用した交流授業」、「英語によるプレゼンテーション大会参加」及び「外国人留学生との交流」の学習内容・指導法の研究 <p>【グローバルビジネスに関するアクティブラーニング】</p>		

	<ul style="list-style-type: none"> ・台湾でのビジネス実習に必要な最低限の中国語会話の学習に関する学習内容、教材、指導法の研究 ・グローバルビジネスで必要とされる英会話、貿易取引に関する実務や外国でのビジネスマナーに関する学習内容、教材、指導法及び外部機関との連携の在り方の研究 ・東南アジアの経済事情に関する学習用の教材及び外部機関との連携の在り方に関する研究 <p>【ケースメソッド】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業財務分析をテーマとしたグループ学習によるケースメソッドの学習内容及び指導法の研究 ・国際会計をテーマとしたケースメソッドの教材及び指導法に関する予備的な研究 <p>【ジョブチャレンジ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期の勤労実習の第2年次での試行実施に向けた予備的な研究
第2年次	<p>【職業バカロレアの試験・評価法を活用した学習指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年「簿記」、2年「財務会計Ⅰ」における職業バカロレアの試験手法を用いた学習指導及び評価法・評価規準の研究 ・2年「プログラミング」における職業バカロレアの試験手法を用いた学習指導と評価法・評価規準の研究 ・1年「情報処理」における職業バカロレアの試験手法を用いた学習の教材と指導法の予備的な研究 <p>【商品開発に関するアクティブラーニング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業との連携による和菓子・紙布の商品開発の評価法・評価規準の研究 <p>【地域への貢献に関するアクティブラーニング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化のためのイベントの企画・運営の評価法・評価規準の研究 ・生徒による出張授業の第3年次実施に向けた予備的な研究 <p>【国際交流に関するアクティブラーニング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「国際テレビ会議システムを活用した交流授業」、「英語によるプレゼンテーション大会参加」及び「外国人留学生との交流」の評価法・評価規準の研究 <p>【グローバルビジネスに関するアクティブラーニング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台湾でのビジネス実習に必要な中国語会話に関する学習内容、教材、指導法及び評価法・評価規準の研究 ・ビジネス英会話、貿易取引に関する実務や外国でのビジネスマナーに関する学習の評価法・評価規準の研究 ・東南アジアの経済事情に関する学習内容、指導法の研究 ・外国人向けの名古屋観光案内の作成及びツアーガイド実習の学習内容、指導法の研究 ・最終年次に実施予定の「ワールドバザール」の企画と実施要項の作成 <p>【ケースメソッド】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業財務分析をテーマとしたグループ学習によるケースメソッドの評価法・評価規準の研究 ・国際会計をテーマとしたケースメソッドの教材及び指導法の研究 <p>【ジョブチャレンジ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期の勤労実習の試行実施における事前指導及び事後指導、実習中の監督に関する研究

第3年次	<p>【職業バカロレアの試験・評価法を活用した学習指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年「簿記」・「情報処理」、2年「財務会計Ⅰ」・「プログラミング」における職業バカロレアの試験手法を用いた学習指導及び評価法・評価規準の研究 <p>【商品開発に関するアクティブラーニング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業との連携による和菓子・紙布の商品開発の評価法・評価規準の研究 <p>【地域への貢献に関するアクティブラーニング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化のためのイベントの企画・運営及び生徒の出張授業の評価法・評価規準の研究 <p>【国際交流に関するアクティブラーニング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「国際テレビ会議システムを活用した交流授業」、「英語によるプレゼンテーション大会参加」及び「外国人留学生との交流」の評価法・評価規準の研究 <p>【グローバルビジネスに関するアクティブラーニング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国語会話・ビジネス英会話・貿易取引に関する実務・外国でのビジネスマナー、東南アジアの経済事情に関する学習、外国人向けの名古屋観光案内・Webの作成及びツアーガイド実習の指導法、評価法・評価規準の研究 ・「ワールドバザール」の学習内容・指導法の研究 <p>【ケースメソッド】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業財務分析、国際会計をテーマとしたグループ学習によるケースメソッドの評価法・評価規準の研究 <p>【ジョブチャレンジ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期の勤労実習の教育的効果に関する研究
------	--

○教育課程上の特例（該当ある場合のみ）

無 し

○平成27年度の教育課程の内容（平成27年度教育課程表を含めること）

本校では、1年次は生徒全員が共通に履修し、2年次より商業科、情報処理科、国際経済科の3学科に分かれて学習を進める。また、商業科には流通ビジネスコース、会計ビジネスコース、オフィスビジネスコースの3コースを設けている。

（別紙「平成27年度教育課程表」参照）

○具体的な研究事項・活動内容

本校のSPH事業は「世界を視野に、地域で貢献し、ビジネスを創造・構築できる人材を育成する」ためには、商業科目においてどのような指導を行うことが適切であるかを研究することを目的として計画した。本年度は、商業科目の中に「職業バカロレアの試験手法」・「アクティブラーニング」を取り入れ、研究を行った。また、2週間程度を想定した長期の勤労実習に関する予備的な調査・研究を行った。各研究の概要は次のとおりである。

1 職業バカロレアの試験・評価法を活用した学習指導

（1）当初の計画

- ・職員向けの研修会を実施し、職業バカロレアに関する職員の理解を深めるとともに、出題形式や出題内容及び評価法や指導法に関する研究を進める。
- ・職業バカロレアの出題意図に沿った授業を試行的に実施し、分析力、思考力、判断力、表現力を育成するうえで、効果的な授業の展開法、生徒への質問法、教材に関する研究を行う。

（2）実施状況

① 職員向け研修会の実施

- ・ 8月22日、研究推進委員の細尾萌子講師（近畿大学）による研修会を実施し、職業バカロレアの出題形式・内容、評価法、指導法に関して職員の理解を深めた。
- ・ 1月21日、教頭より職業バカロレア試験の特徴、本校での導入の趣旨について説明し、職員の理解を深めた。

② 『財務会計Ⅰ』

[研究内容]

- ・ 職業バカロレアの試験手法を導入した授業に適切な教材及び指導法の研究

[活動内容]

- ・ グループワークによる職業バカロレアの出題意図・形式に沿った手法による授業を12月と1月に実施した。

[協力機関]

- ・ 近畿大学

③ 『プログラミング』

[研究内容]

- ・ 職業バカロレアの試験手法を導入した授業に適切な教材及び指導法の研究

[活動内容]

- ・ 9月より2月まで、職業バカロレアの出題意図・形式に沿った手法による授業を継続的に実施した。

[協力機関]

- ・ 近畿大学

④ 『簿記』

[研究内容]

- ・ 次年度の学年全体（8学級）での実施に向け、職業バカロレアの試験手法を用いた授業の実施時期、学習テーマ、教材、指導法の研究

[活動内容]

- ・ 11月と1月に1学級において職業バカロレアの手法による授業を試行的に実施し、指導法・教材の適否について検討した。
- ・ 『簿記』の教科担任会を開催し、試行授業の結果を報告するとともに、次年度の学年全体での実施に向け、実施時期、学習テーマ、教材に関して協議を行った。

2 アクティブラーニングを導入した「商品開発」に関する学習指導

(1) 当初の計画

- ・ 特別活動「ビジネスクラブ」において、商品開発のアクティブラーニングに関する指導法及び外部の協力機関との連携等に関する研究を行い、商業科目での実施の予備的な研究を行う。
- ・ 予備的な研究として、情報処理科3年「課題研究」の「CG作品制作班」での指導計画、評価法に関する研究を行う。

(2) 計画の変更

- ・ 商品開発のうち「和菓子」に関する指導法の研究は、ビジネスクラブより商業科目である「商品開発」（商業科3年選択科目）において研究を進めることに変更した。
- ・ 商品開発において連携する学科・コースを3年情報処理科の「課題研究」としたが、2年オフィスビジネスコース「アプリケーション実習」に変更した。

(3) 実施状況

① 紙布による商品開発

[研究内容]

- ・ 「ビジネスクラブ」において、商品開発をテーマとしたアクティブラーニングの学習内容、指導法、教材、協力機関との連携の在り方に関する研究

[活動内容]

- ・ ターゲットとする顧客層を想定した鞆のデザイン案の考案と鞆職人による鞆の図面作成の指導、図面に基づく鞆の型紙の作成とサンプルの作成と改良
- ・ 完成させたセカンドサンプルをもとにした本革による試作品の作成依頼

- ・ 試作品の問題点の検討及び改善点の整理
- ・ 鞆の原価を本革・紙布・職人による縫製の視点から検討し、販売価格の決定と協力企業の指導・助言
- ・ 企業からの指摘を踏まえた、開発商品の販売の可否についての検討
- ・ 平成25年度に本校が取得した商標「s i f u」のブランドを効果的に活用する方策、ポータルサイト、インターネット上の販売、パブリシティ活動の研究

[協力機関]

- ・ S A L L Y L A B E L 株式会社
- ・ 美濃竹紙工房
- ・ 有松絞会館
- ・ まり木綿

② 和菓子の商品開発

[研究内容]

- ・ 商品開発をテーマとしたアクティブラーニングの学習内容、指導法、教材、協力機関との連携の在り方に関する研究

[活動内容]

- ・ 顧客のターゲット・ニーズの検討、日本の四季をテーマとした和菓子のアイデアの検討、クラス内での発表会の実施及び開発商品の候補の選定
- ・ 生徒による連携企業への連絡、試作品作成の協力依頼、連携企業での生徒による開発までの経緯や生徒が考えた商品の説明等の活動と販売商品の決定
- ・ 2回の試食会の開催と試食アンケートの実施・分析に基づく試作品の改良の検討と最終的な販売商品の決定
- ・ 「第7回いちいお菓子フェア（会場：一宮市）」での販売商品の個数・容器・価格・納品時期・支払方法の検討と企業との生徒による交渉
- ・ 代表生徒による販売実習、個別商談会でのバイヤーへの説明と交渉、販売実習時における消費者アンケートの実施
- ・ 和菓子の現在の消費環境に関するK J法を用いた分析、お菓子フェアで実施したアンケート調査の集計・分析とK J法を用いた分析
- ・ 分析結果を参考にした販路拡大やブランドイメージ向上のためのマーケティング戦略の考案、ポータルサイト立ち上げ準備や販路拡大に関する方策の学習

[協力機関]

- ・ 不老園
- ・ いちい信用金庫

3 地域への貢献に関するアクティブラーニングの学習指導

(1) 当初の計画

- ・ 3年情報処理科の生徒を中心とした「ビジネスクラブ」により、近隣の商店街で開催されるイベントを通して、地域への貢献に関するアクティブラーニングの指導法、評価法・評価規準に関する研究を行う。
- ・ 予備的な研究として、情報処理科の課題研究「CG作品制作班」での指導計画、評価法に関する研究を行う。

(2) 計画の変更

- ・ 予備的な研究として、地域イベントの広報活動に関して、情報処理科の課題研究「CG作品制作班」「アプリケーション実習」（商業科オフィスビジネスコース2年）において、SNS・ソフトウェアの活用に関する学習内容・指導法に関する研究を行う。

(3) 実施状況

[研究内容]

- ・ 地域の活性化について主体的に考え、行動できる人材の育成を目的とした地域貢献に関するアクティブラーニングの学習内容、指導法、協力機関との連携や他の学科・コースとの連携の在り方に関する研究

[活動内容]

- ・6月より1月まで、地域貢献をテーマとする愛知工業大学のゼミナールに生徒が参加し、大学生と共に地域貢献に関する調査・研究を行った。
- ・生徒により、地域のショッピングマップ作成・地域イベントの企画を提案し、地域マップの作成、地域イベントの一部企画を行った。
- ・地域貢献に関する調査・研究や取り組みを研究報告書とプレゼンテーション原稿にまとめ、A I Tサイエンス大賞に応募し、「社会科学・地域づくり部門」で優秀賞を受賞した。
- ・2年商業科オフィスビジネスコースにおいて、名古屋文理大学より講師を招聘し、時代に即応したI C T・S N Sの活用に関して講義を受け、I C T・S N Sの活用に関する学習を実施した。

[協力機関]

- ・愛知工業大学
- ・名古屋文理大学
- ・自由ヶ丘商店街

4 国際交流に関するアクティブラーニングの学習指導

(1) 当初の計画

- ① 国際テレビ会議システムを活用した交流授業
 - ・1学期にオーストラリアの高校、10月に台湾の高校と交流授業を実施する。
- ② 英語によるプレゼンテーション大会への参加
 - ・8月に日本福祉大学で実施される「World Youth Meeting」、12月に高雄市（台湾）で実施される「Asian Students Exchange Program」への参加に向けての、国際経済科3年「総合実践」での指導法について研究する。
- ③ 外国人留学生との交流プログラム
 - ・5月の中国高校生、11月の高雄高級商業職業学校生徒との交流を実施する。

(2) 計画の変更

- ・上記のうちの「③ 外国人留学生との交流プログラム」は、11月の高雄高級商業職業学校生徒との交流のみを実施する。

(3) 実施状況

- ① 国際テレビ会議システムを活用した交流授業

[研究内容]

- ・国際TV会議システムを活用した交流授業の学習内容、指導法、実施時期に関する研究

[活動内容]

- ・6月にオーストラリアの高校2校と、12月にオーストラリアの高校と交流授業を実施した。

[協力機関]

- ・チェリーブルック工科高等学校（オーストラリア・シドニー）
- ・ウイロビー高等学校（オーストラリア・シドニー）

- ② 英語によるプレゼンテーション大会への参加

[研究内容]

- ・2年国際経済科『国際交流実習』、3年国際経済科『総合実践』における「英語によるプレゼンテーション大会への参加」に関するアクティブラーニングの学習内容、指導法、教材に関する研究

[活動内容]

- ・国際テレビ会議システムを活用して、高雄高級商業職業学校生徒と共同研究を行う。
- ・タブレットPCを活用して、研究した内容をまとめる。
- ・日本福祉大学で開催された「World Youth Meeting」（8月）、高雄市（台湾）で実施された「Asian Students Exchange Program」（12月）に台湾の高校生と共同発表を行った。
- ・8月に開催された愛知県公立学校商業教育フェアにおいて、日本福祉大学で発表した内容を本校生徒のみでプレゼンテーションを行った。
- ・2月に実施予定の名古屋市立高等学校国際フォーラムにおいて、台湾との交流について英語でプレゼンテーションを行う予定である。

[協力機関]

- ・日本福祉大学
- ・高雄市立高雄高級中學（台湾・高雄）
- ・高雄市立高雄高級商業職業學校（台湾・高雄）
- ・高雄市立中正高級工業職業學校（台湾・高雄）
- ・高雄市立楠梓高級中學（台湾・高雄）

③ 外国人留学生との交流プログラム

[研究内容]

- ・異文化理解の深化と英語・中国語会話の活用・コミュニケーション能力の向上を目的とした外国人留学生との交流事業の在り方、交流内容、指導法に関する研究

[活動内容]

- ・日本や名古屋の文化を研究し、説明用のプレゼンテーション資料を作成し、11月に来名した高雄高級商業職業学校の生徒に日本や名古屋を紹介する機会を設けた。

[協力機関]

- ・名古屋観光コンベンションビューロー
- ・高雄市立高雄高級商業職業學校（台湾・高雄）

5 グローバルビジネスに関するアクティブラーニングの学習指導

(1) 当初の計画

- ・中国語、ビジネス英語、ビジネスマナーや実務に関する指導法・教材の研究を行う。中国語の指導にあたっては、中国語会話ソフトの活用と講師による授業の効果的な学習計画の在り方について研究する。
- ・東南アジアのビジネス・言語に関する学習、商品の輸入手続きに関する学習についての学習計画、指導法、教材及び評価を研究する。

(2) 実施状況

① 中国語会話の学習

[研究内容]

- ・「国際交流実習」（国際経済科2年）、「課題研究」（国際経済科3年）において、協力機関からの講師の招聘と既存の中国語会話ソフトの活用による中国語会話の指導法、協力機関との連携の在り方に関する研究。

[活動内容]

- ・協力機関より派遣された講師による中国語会話の学習
- ・中国語会話ソフトを活用した中国語会話の学習
- ・協力機関より派遣された講師との中国語会話の教材と指導法の研究

[協力機関]

- ・愛知文教大学

② ビジネス英語・グローバルビジネスの実務の学習

- ・「ビジネス実務」（国際経済科2年）、「広告と販売促進」（商業科流通ビジネスコース2年）において、協力機関より講師を招聘し、英会話、貿易取引に関する実務や外国でのビジネスマナーに関する学習を実施した。

③ 東南アジアのビジネスに関する学習

- ・「広告と販売促進」（商業科流通ビジネスコース2年）において、東南アジアの経済事情に関する学習を、協力機関より講師を招聘し、授業を実施した。

6 ケースメソッドを取り入れた学習指導

(1) 当初の計画

- ・商業科3年選択科目「パーソナルファイナンス」及び商業科会計ビジネスコース3年の「財務会計Ⅱ」において、会計情報を活用したケースメソッドを取り入れた学習について研究を行う。

(2) 計画の変更

- ・実施科目を「パーソナルファイナンス」から「財務会計Ⅰ」（会計ビジネスコース2年）に変更したうえで、試験的にケースメソッドの授業を実施し、ケースメソッドの指導法と評価

法に関する研究を行う。

(3) 実施状況

[研究内容]

- ・ケースメソッドを取り入れた授業の教材の開発、指導法及び大学との連携の在り方に関する研究

[活動内容]

- ・8月22日に、愛知大学経営学部会計ファイナンス学科の教授等により、ケースメソッドに関する講演を実施し、職員の理解を深めた。
- ・SPHケースメソッド協力会議を5回、協力機関である大学において実施し、ケースメソッドの教材、指導法、学習計画に関して協議を実施した。
- ・商業科会計ビジネスコース2年『財務会計Ⅰ』において、10月と12月に、ケースメソッドを取り入れたグループ学習を、試験的に実施した。

[協力機関]

- ・愛知大学：国際会計規準に関するケースメソッド
- ・名古屋商科大学：企業財務分析に関するケースメソッド

7 ジョブチャレンジに関する研究

(1) 当初の計画

- ・本年度は、次年度の実施に向け、協力機関と協議し、事前調査・研究を実施する。

(2) 実施状況

[研究内容]

- ・長期間の勤労実習における、学校と企業との連携の在り方、事前・事後指導における学校と企業との指導内容の分担、実習中の企業・学校の指導・監督の在り方、有給で実施する場合の課題等に関する研究

[活動内容]

- ・長期の勤労実習の受入に関して、名古屋商工会議所機関誌へ協力依頼文の掲載と、名古屋税理士会機関紙へのチラシの封入を依頼した。
- ・名古屋銀行協会、名古屋証券業協会、愛知中小企業家同友会等の機関へ実習の受入依頼を行った。
- ・高校生の有償での長期勤労実習の労働関係法規上の課題に関して、公共職業安定所、愛知労働局で聞き取り調査を実施した。
- ・高校生の長期勤労実習の優位性と課題に関して、受入可能の意思を表明した税理士法人、企業へ聞き取り調査を実施した。

[協力機関]

- ・名古屋商工会議所
- ・名古屋税理士会

5 研究の成果と課題

○実施による効果とその評価

- ・計画の一部を若干変更したが、概ね当初の計画とおりに事業は進行している。
- ・事業の多くを商業科の科目または学校設定科目の指導計画に組み入れ、商業科の学びの中で生徒がアクティブラーニングを行うよう工夫した。
- ・職業バカロレア及びアクティブラーニングを授業に導入したが、通常の講義式の授業に比し、いずれも生徒の学習意欲、満足度を向上させるものであり、これらの学習を授業に取り入れることは指導上有益であると判断できる。
- ・SPH委員会の活動を通して、事業計画の立案、各事業の進捗状況の確認、連携機関との調整等を行うとともに、委員会の報告を商業科会・職員会議で行い、校内での周知を図った。

○実施上の問題点と今後の課題

- ・個々のアクティブラーニングにおいて、それぞれに明確化した育む能力がどの程度育成されたかを評価の規準とした評価法・評価規準の作成を年度内に終える。

- ジョブチャレンジでは、関係団体の指導・助言を得て、来年度2週間程度の長期勤労実習の少人数による試行が可能になったが、事前指導・事後指導の内容、学校・企業の指導の在り方・評価に関する研究を行う。
- 学科・コース、学年で実施すべきアクティブラーニングの効果的な配置に基づく、次年度の実施計画を立案する。